

鳥井 メディアなどが、  
 そういふところは言うべ  
 きたと思えますが、  
 白石 福島第一原子力発  
 電所の事故の後、新聞も放  
 射線量のデータを載せ始  
 めました。しかし、多くの  
 データはすでに日本国  
 内のデータだけ出してい  
 る。私は、世界各地のデー

きるかたちで提示するこ  
 と、この二つがひじょう  
 に大事だったと思いま  
 す。  
 鳥井 それは専門性とは  
 また別の問題として、大  
 事なことですね。  
 白石 実は、わたしは、  
 メディアで専門家に期  
 待されているのは、デー  
 タをみんなそれぞれに  
 受け止めて理解できる  
 ようサポートすること、  
 そのための手段を提供  
 することだと思います。  
 今日の東京の放射線量  
 はこれだけで言うとわか  
 れても、それにどうい  
 う意味があるのか、わた  
 しにはわからない。しか  
 し、ソウル、北京、モス  
 クワと比べれば、それな  
 りにわかる。そういう意  
 味で、専門性はバランス  
 のとれた広い常識に支  
 えられていなければな  
 らない。食品として許容  
 される放射線量の基準  
 設定などにおいて、そ  
 ういうバランスのとれた  
 常識というものはひじ  
 ょうに重要であると思  
 います。

そのための手段を提供  
 することだと思います。  
 今日の東京の放射線量  
 はこれだけで言うとわか  
 れても、それにどうい  
 う意味があるのか、わた  
 しにはわからない。しか  
 し、ソウル、北京、モス  
 クワと比べれば、それな  
 りにわかる。そういう意  
 味で、専門性はバランス  
 のとれた広い常識に支  
 えられていなければな  
 らない。食品として許容  
 される放射線量の基準  
 設定などにおいて、そ  
 ういうバランスのとれた  
 常識というものはひじ  
 ょうに重要であると思  
 います。

アは日本語という強力な  
 非関税障壁に守られてい  
 ますし、政治はどこでも  
 もっともドメスティック  
 な業種で、そこはなかなか  
 変わらない。  
 鳥井 なるほど。

原子力産業新聞 対談特集 「日本社会の専門性」を考える ③



鳥井 サイエンスの専門  
 性、純文学や社会学な  
 ど他分野の専門性の違い  
 をどうお考えですか。  
 白石 人文学はともか  
 く、社会科学と自然科学  
 では、政策との関係で、  
 専門性の違いはほとんど  
 ないと思います。  
 科学技術政策を考えた  
 場合、その政策の策定に  
 あたっては、多くの科学  
 者、技術者が関与します  
 が、「政策のための科学」  
 という観点から見ると、  
 たとえば、金融政策の方  
 が、科学技術政策などよ  
 り、はるかに豊富なデー  
 タを分析し、政策を策定  
 している。では、政策の  
 ための科学はこれからど  
 う発展させていけばよい  
 のか。科学者だけででき  
 るのか。私はそうは思  
 いません。それぞれの国に  
 はそれぞれ違う政策策定  
 のシステムがあり、違う  
 意思決定のプロセスがあ  
 る。それを理解した上で、  
 できるだけ科学的根拠の  
 ある政策策定をしようと  
 思えば、科学者、技術者  
 と社会科学の専門家の協  
 力が重要となる。また、  
 政策研究においては、国  
 によって制度がずいぶん  
 違うので、そうした制度  
 の違いが政策策定、意思

決定にどう作用するか、  
 実践的理解、あるいは  
 フィールド・ワーク的理  
 解も重要です。  
 私はアメリカに十五年  
 ほど住み、アメリカの大  
 学で十年ほど教えまし  
 た。そのときの経験を踏  
 まえて言うと、ちょうど  
 教授に昇進した頃、つま  
 り、自分が研究者として  
 どれくらいやれそうか、  
 わかり始めた頃、他の大  
 学から声がかかり始めま  
 す。その中には、アドミ  
 ニストレーション(経営  
 職)関係のオファーがず  
 いぶんあった。研究所の  
 センター長でないか、  
 シンクタンクの部門長で  
 来ないか、学部長で来な  
 いか、そういったタイプ  
 のオファーです。年俸は  
 ひじょうに良い。しかし、  
 あるいは研究所を運営す  
 るのは、違う能力です。  
 それに似たジョブ・  
 マーケットを作り、キャ  
 リア・パスを作らなければ  
 いけない。同じことは、  
 政府のサイエンスアドバ  
 イザー、総合科学技術会  
 議の議員、その他、政府  
 関係の役職についても言  
 えると思います。  
 鳥井 非常によくわかり  
 ますね。原子力規制委員  
 会の委員は、そういう訓  
 練は全くされていない中  
 に一人ではなにもできな  
 いことが明らかになる。  
 スタッフをそろえ、サ  
 ポート体制を作らないと  
 なにもできない。そうす  
 ると、そのうち、うまく  
 いけば、スタッフの中か  
 ら、サイエンスアドバイ  
 ザーとはどういう仕事  
 か、それをよくわかった  
 人がアドバイザーになる  
 時代が来る。その頃に  
 なってやるとそれなりの  
 キャリア・パスもできる。  
 スタッフの中には、科学  
 者として活躍する人もい  
 るでしょう。それは大い  
 に結構ですが、中には第  
 一級の業績を挙げること  
 のない人もいるかもしれ  
 ない。しかし、それで一  
 向に構わない。その人は  
 違うキャリアを歩むわけ  
 です。サイエンスのト  
 レーニングを受けた人  
 で、広くバランスのとれ  
 た常識をもった人、そ  
 ういう人がシンクタンク  
 で研究マネージメント  
 をやり、大学経営に関与  
 し、また政府に入って、  
 政策決定とはどういう  
 ことを学び、やがて重  
 要ポストに付くように  
 なる、そういう仕組みを  
 創る必要がある。また、  
 そういふポストもふく  
 め、リサーチ・マネー  
 ジメント、大学経営の専門  
 家のジョブ・マーケッ  
 トを作り、キャリア・パ  
 スを創って行く必要が  
 ある。(了)

Topic  
**政策決定のための専門性  
 アドバイザー出発点**

鳥井 なるほど。  
 アは日本語という強力な  
 非関税障壁に守られてい  
 ますし、政治はどこでも  
 もっともドメスティック  
 な業種で、そこはなかなか  
 変わらない。  
 鳥井 なるほど。

Memo

**第4期科学技術基本計画の特徴**

- 計画策定にあたっては、  
 東日本大震災を踏まえ、  
 ⇒新たな重要課題に「震災からの復興と再生」と「潜在的リスクのマネジメント」を盛り込み、課題解決型の計画を策定。  
 ⇒「潜在的リスクのマネジメント」では、原子力発電所のようなきわめて複雑で高度な技術的システムの潜在的リスクをきちんと把握し評価しマネジメントとしていく取組みの重要性が強調された。  
 ⇒さらにそれを透明性をもって国民に情報提供し、理解と信頼と支持を得ることが長期的な科学技術政策の実現に不可欠であることが強調された。
- また、第3章「我が国が直面する重要課題への対応」のひとつに、「世界と一体化した国際活動の戦略的展開」をあげ、以下の項目をあげて取組み強化の必要性を示した。
  - (1) アジア共通の問題解決に向けた研究開発の推進
  - (2) 科学技術外交の新たな展開
    - ① 我が国の強みを活かした国際活動の展開
    - ② 先端科学技術に関する国際活動の推進
    - ③ 地球規模問題に関する開発途上国との協調及び協力の推進
    - ④ 科学技術の国際活動を展開するための基盤の強化

研究者としてのキャリア  
 はあきらめなければなら  
 ない。そういうオファー  
 を受け入れると、そこで  
 大学経営、リサーチ・マ  
 ネージメントのキャリア  
 に入っていく。学部長に  
 なり、プロヴオストにな  
 り、学長になっていく。  
 そういうキャリア・パス  
 があって、その中であ  
 る経験を積み、大学経  
 営を学んでいく。  
 しかし、日本の大学に  
 そんなものはない。一つ  
 の大学の中では、事実上、  
 そういうキャリアに入っ  
 ていく人もいないけれど  
 も、国全体として、そ  
 ういふシステムがあるわけ  
 ではない。しかし、研究  
 者として世界的な研究業  
 績を挙げると、大学、  
 あるいは研究所を運営す

るの、違う能力です。  
 それに似たジョブ・  
 マーケットを作り、キャ  
 リア・パスを作らなければ  
 いけない。同じことは、  
 政府のサイエンスアドバ  
 イザー、総合科学技術会  
 議の議員、その他、政府  
 関係の役職についても言  
 えると思います。  
 鳥井 非常によくわかり  
 ますね。原子力規制委員  
 会の委員は、そういう訓  
 練は全くされていない中  
 に一人ではなにもできな  
 いことが明らかになる。  
 スタッフをそろえ、サ  
 ポート体制を作らないと  
 なにもできない。そうす  
 ると、そのうち、うまく  
 いけば、スタッフの中か  
 ら、サイエンスアドバイ  
 ザーとはどういう仕事  
 か、それをよくわかった  
 人がアドバイザーになる  
 時代が来る。その頃に  
 なってやるとそれなりの  
 キャリア・パスもできる。  
 スタッフの中には、科学  
 者として活躍する人もい  
 るでしょう。それは大い  
 に結構ですが、中には第  
 一級の業績を挙げること  
 のない人もいるかもしれ  
 ない。しかし、それで一  
 向に構わない。その人は  
 違うキャリアを歩むわけ  
 です。サイエンスのト  
 レーニングを受けた人  
 で、広くバランスのとれ  
 た常識をもった人、そ  
 ういう人がシンクタンク  
 で研究マネージメント  
 をやり、大学経営に関与  
 し、また政府に入って、  
 政策決定とはどういう  
 ことを学び、やがて重  
 要ポストに付くように  
 なる、そういう仕組みを  
 創る必要がある。また、  
 そういふポストもふく  
 め、リサーチ・マネー  
 ジメント、大学経営の専門  
 家のジョブ・マーケッ  
 トを作り、キャリア・パ  
 スを創って行く必要が  
 ある。(了)

なるとやるとそれなりの  
 キャリア・パスもできる。  
 スタッフの中には、科学  
 者として活躍する人もい  
 るでしょう。それは大い  
 に結構ですが、中には第  
 一級の業績を挙げること  
 のない人もいるかもしれ  
 ない。しかし、それで一  
 向に構わない。その人は  
 違うキャリアを歩むわけ  
 です。サイエンスのト  
 レーニングを受けた人  
 で、広くバランスのとれ  
 た常識をもった人、そ  
 ういう人がシンクタンク  
 で研究マネージメント  
 をやり、大学経営に関与  
 し、また政府に入って、  
 政策決定とはどういう  
 ことを学び、やがて重  
 要ポストに付くように  
 なる、そういう仕組みを  
 創る必要がある。また、  
 そういふポストもふく  
 め、リサーチ・マネー  
 ジメント、大学経営の専門  
 家のジョブ・マーケッ  
 トを作り、キャリア・パ  
 スを創って行く必要が  
 ある。(了)



なるとやるとそれなりの  
 キャリア・パスもできる。  
 スタッフの中には、科学  
 者として活躍する人もい  
 るでしょう。それは大い  
 に結構ですが、中には第  
 一級の業績を挙げること  
 のない人もいるかもしれ  
 ない。しかし、それで一  
 向に構わない。その人は  
 違うキャリアを歩むわけ  
 です。サイエンスのト  
 レーニングを受けた人  
 で、広くバランスのとれ  
 た常識をもった人、そ  
 ういう人がシンクタンク  
 で研究マネージメント  
 をやり、大学経営に関与  
 し、また政府に入って、  
 政策決定とはどういう  
 ことを学び、やがて重  
 要ポストに付くように  
 なる、そういう仕組みを  
 創る必要がある。また、  
 そういふポストもふく  
 め、リサーチ・マネー  
 ジメント、大学経営の専門  
 家のジョブ・マーケッ  
 トを作り、キャリア・パ  
 スを創って行く必要が  
 ある。(了)

なるとやるとそれなりの  
 キャリア・パスもできる。  
 スタッフの中には、科学  
 者として活躍する人もい  
 るでしょう。それは大い  
 に結構ですが、中には第  
 一級の業績を挙げること  
 のない人もいるかもしれ  
 ない。しかし、それで一  
 向に構わない。その人は  
 違うキャリアを歩むわけ  
 です。サイエンスのト  
 レーニングを受けた人  
 で、広くバランスのとれ  
 た常識をもった人、そ  
 ういう人がシンクタンク  
 で研究マネージメント  
 をやり、大学経営に関与  
 し、また政府に入って、  
 政策決定とはどういう  
 ことを学び、やがて重  
 要ポストに付くように  
 なる、そういう仕組みを  
 創る必要がある。また、  
 そういふポストもふく  
 め、リサーチ・マネー  
 ジメント、大学経営の専門  
 家のジョブ・マーケッ  
 トを作り、キャリア・パ  
 スを創って行く必要が  
 ある。(了)

なるとやるとそれなりの  
 キャリア・パスもできる。  
 スタッフの中には、科学  
 者として活躍する人もい  
 るでしょう。それは大い  
 に結構ですが、中には第  
 一級の業績を挙げること  
 のない人もいるかもしれ  
 ない。しかし、それで一  
 向に構わない。その人は  
 違うキャリアを歩むわけ  
 です。サイエンスのト  
 レーニングを受けた人  
 で、広くバランスのとれ  
 た常識をもった人、そ  
 ういう人がシンクタンク  
 で研究マネージメント  
 をやり、大学経営に関与  
 し、また政府に入って、  
 政策決定とはどういう  
 ことを学び、やがて重  
 要ポストに付くように  
 なる、そういう仕組みを  
 創る必要がある。また、  
 そういふポストもふく  
 め、リサーチ・マネー  
 ジメント、大学経営の専門  
 家のジョブ・マーケッ  
 トを作り、キャリア・パ  
 スを創って行く必要が  
 ある。(了)

## 「原産新聞ヘッドラインニュース」 無料メールマガジン

原子力産業新聞は、最新号の見出しと要約を、  
 毎週月曜日に電子メールを使って配信する  
 無料メールマガジン「原子力産業新聞ヘッ  
 ドラインニュース」のサービスを行っています。  
 メールマガジンの配信をご希望の方は、電子メ  
 ールまたはFAXで、電子メールアドレス、組織  
 名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記し  
 てお申し込みください。

お申込み先 **shinbun@jaif.or.jp**

こちらからも直接お申込みいただけます。  
 ○原産ホームページ (<http://www.jaif.or.jp/>)  
 ○まぐまぐ (<http://www.mag2.com/>)

一般社団法人 日本原子力産業協会 政策・コミュニケーション部  
 (TEL03-6812-7103, FAX03-6812-7110)

## 原産新聞の記事検索

<http://www.jaif.or.jp/>

原産協会が発行する「原子力産業新聞」では、1999年11月からの記事データベース  
 から即座に目的の記事を検索できるサービスを、原産協会会員、原産新聞  
 購読者を対象に行っています。何回利用しても無料です。

また、一般の方にも2006年度からさかのぼって1955年9月25日の創刊号  
 までは、紙面のPDF版が当協会HP「電子図書館」からご覧いただけます。  
 PDF版のキーワード検索も年度単位でご利用いただけるようになりました。

□対象：原産会員、原産新聞購読者  
 ご利用にはユーザー名(ID)、パスワードが必要です。  
 電子メールで購読者コード、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号  
 を明記してお申し込みください。折り返し、IDとパスワードを返送します。

□お申込み：information@jaif.or.jp  
 □お問合せ：一般社団法人日本原子力産業協会 政策・コミュニケーション部(TEL03-6812-7103)

【著作権】一般社団法人 日本原子力産業協会